

関係機関・団体長
病害虫防除員
農薬管理指導士

様

山口県病害虫防除所長

水稻のトビイロウンカの発生状況と今後の予想 (技術資料第 7 号) について

このことについて、下記のとおり送付しますので防除指導の参考にしてください。

記

1 発生状況

(1) 8 月 8 ~ 1 0 日の巡回調査では、発生ほ場率は 3 1 . 4 % (平 年 1 3 . 7 %) 、
1 0 株 当 た り 虫 数 は 0 . 4 頭 (平 年 8 . 4 頭) 、 短 翅 成 虫 数 は 0 . 1 頭 (平 年 0 . 1
頭) で 平 年 に 比 べ や や 多 か っ た (図 1) 。

特に、長門中間で 1 0 株 当 た り 虫 数 が 多 か っ た。

(2) 県内 5 か所の予察灯における誘殺数 (7 月 ~ 8 月 8 日) は、 2 3 頭 (平 年
2 8 . 9 頭) で 平 年 に 比 べ や や 多 か っ た。

2 今後の予想

(1) 発生地域 県内全域

(2) 発生量 やや多 (本年は発生ほ場率は高いが、密度は前年に比べ低い)

ア 9 月 4 半 句 以 降 に 収 穫 す る ほ 場 で は 9 月 中 下 旬 以 降 、 局 所 的 に 坪 枯 れ が 発 生 す
る 可 能 性 が あ る 。

イ 9 月 3 半 句 ま で に 収 穫 す る ほ 場 で は 坪 枯 れ が 発 生 す る 可 能 性 は 低 い 。

3 防除対策

(1) 防除適期 (図 2)

9 月 4 半 句 以 降 に 収 穫 す る ほ 場 (主 に ヒ ノ ヒ カ リ 等 中 生 品 種)

8 月 2 1 日 ~ 9 月 3 日 頃 (6 月 3 0 日 、 7 月 3 日 、 9 日 頃 飛 来 虫 の 第 2 世 代 幼 虫 最 盛 期)

9 月 1 0 ~ 1 5 日 頃 (7 月 1 8 日 頃 飛 来 虫 の 第 2 世 代 幼 虫 最 盛 期)

(2) 防除の目安

株 当 た り の 成 幼 虫 が 5 頭 以 上 の と き

(3) ほ場の発生密度を確認し、防除の目安を超える場合は早急に防除する。

(ほ 場 の 発 生 密 度 の 確 認 は 3 の (1) の 時 期 に 行 い 、 そ の う ち の 時 期 が 主 体 に な
る 。)

4 防除上注意すべき事項

(1) 薬剤は株元によくかかるように丁寧に散布する。

(2) 防除に当たっては、平成 1 8 年山口県農作物病害虫・雑草防除指導基準を参照し、
使用時期等の農薬使用基準を遵守する。

(3) 収穫が迫り薬剤散布ができないほ場では、収穫適期の範囲内で早めに収穫する。

(4) 今後の発生予察情報に注意する。

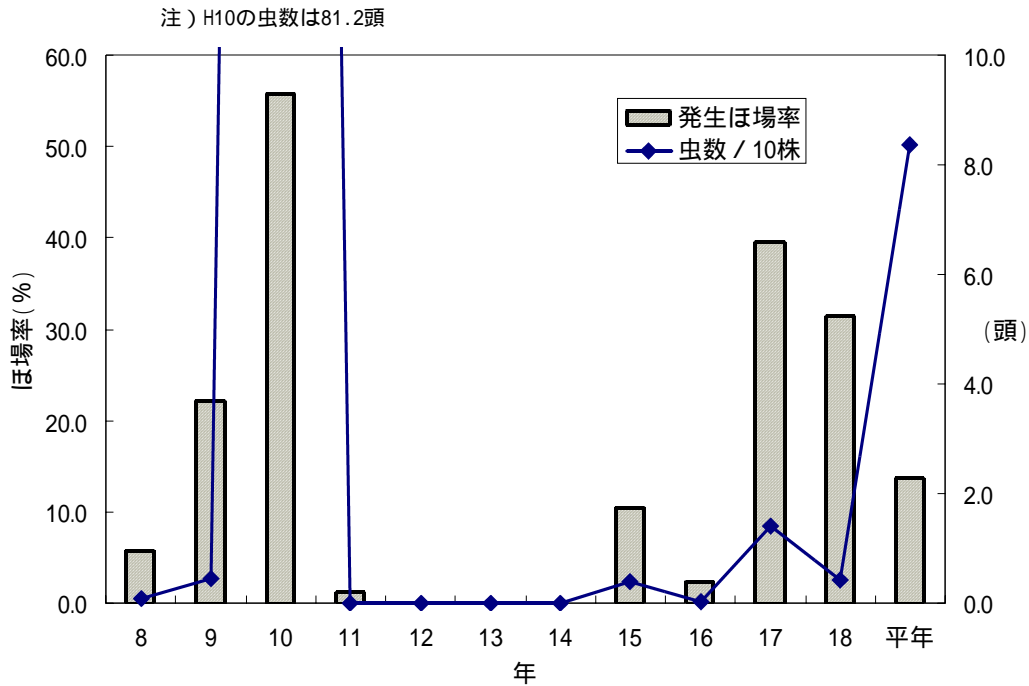


図1 トビイロウンカの年次別発生推移

山口県農林業情報システム

	8月					9月					10月			
飛来日	20	25				1	5	10	15	20	25	1	5	10
6月30日	o	o	@	@	@	A	A	A	A	A	A	A	A	A
7月3日	o	o	o	o	o	A	A	A	A	A	A	A	A	A
7月9日	-	-	o	o	o	A	A	A	A	A	A	A	A	A
7月18日	A	A	A	A	A	-	-	o	o	o	o	A	A	A

予測日 2006年 8月 17日

凡例	A: 成虫	-: 卵	o: 幼虫	@: 防除適期
	主要な飛来	多飛来	並飛来	少飛来

図2 トビイロウンカの防除適期予測

(参考)用語解説

やや多とは、過去10年間で2～3番目に多かった年と同程度の発生である。

半旬とは、旬日の半分であり具体的には次のとおり。

1半旬は1～5日、2半旬は6～10日、3半旬は11～15日、

4半旬は16～20日、5半旬は21～25日、6半旬は26～30日